

# 具体の施策（計画の3本柱）について

---

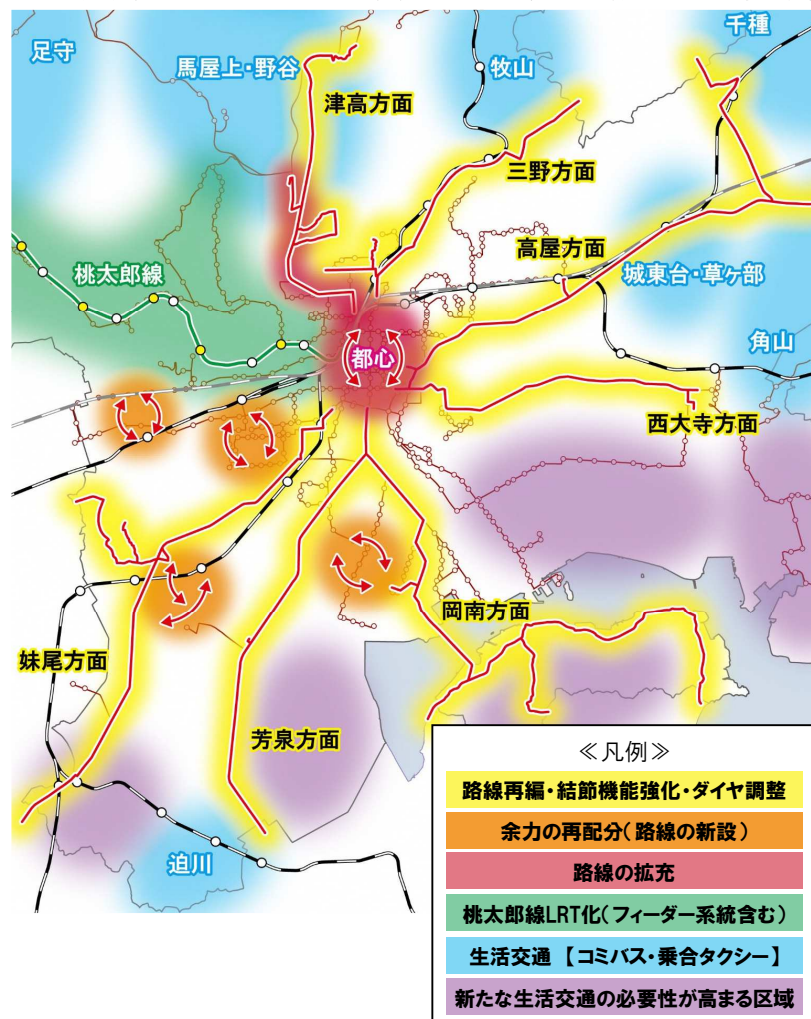
1. 具体の施策（計画の3本柱）に関する岡山市からの提案
  - 1) バス路線の再編
  - 2) 都心の運賃値上げ（運賃の適正化）
  - 3) 運賃割引（高齢者・障害者）
2. 期待される効果の試算
3. 行政からの支援（案）

# 1. 具体の施策(計画の3本柱)に関する岡山市からの提案

## 1) バス路線の再編

- 6方面では、バス路線を再編し、運行の効率化を図るとともに、一部延伸することで利便性の向上を図る
- 津高方面・中心部では、バス路線の拡充により、利便性の向上を図る
- 庭瀬駅・北長瀬駅周辺では、駅へのアクセス性の向上を図るためのバス路線新設を検討

### ■ 公共交通ネットワーク再構築の全体像(網形成計画から更新)



### ■ 対象路線と再編の内容

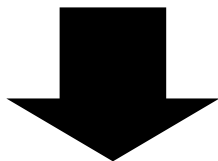
※赤字は今回新たに提案する内容

| 方面          | 事業者 | 路線名                           | 再編の内容(案)   |
|-------------|-----|-------------------------------|--|
| ①三野         | 宇野  | 美作線(山陽団地、材林 <sup>®</sup> リス等) | <ul style="list-style-type: none"> <li>三野線(岡電)の廃止</li> </ul>   |
|             | 岡電  | 三野線、妙善寺線、理大東門線                |  |
| ②高屋         | 宇野  | 国道2・250号線                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>岡電高屋線(岡電)の減便</li> </ul>   |
|             | 岡電  | 岡電高屋線                         |  |
| ③西大寺        | 両備  | 西大寺線、益野西循環線                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>めぐりん益野線(八晃)の廃止</li> </ul>   |
|             | 八晃  | めぐりん益野線                       |  |
| ④岡南         | 両備  | 上山坂線、鉾立線、渋川特急線                | <ul style="list-style-type: none"> <li>上山坂線・鉾立線を支線化し、労災病院・区役所等へ延伸</li> <li>築港新町で乗り継ぎ拠点整備</li> </ul>  |
|             | 岡電  | 岡山労災病院線                       |  |
| ⑤芳泉         | 岡電  | 大東線、日赤病院線                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>重複区間(大東～岡山駅)で等間隔ダイヤに調整</li> </ul>   |
|             | 両備  | 玉野市役所線、渋川線、荘内線                |  |
| ⑥妹尾         | 下電  | 興除線(児島、車庫、汗入)                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>汗入～天満屋間を減便</li> <li>妹尾駅へ延伸</li> <li>妹尾駅の結節機能強化</li> </ul>   |
|             | 岡電  | 火の見線、重井病院線、コンベックス岡山前線         |  |
| ⑦津高【拡充】     | 中鉄  | 半田山ハイツ・津高台団地線、国立病院線、免許C・辛香線   | <ul style="list-style-type: none"> <li>国立病院線は、八晃を加えた3社で運行</li> <li>八晃の運行計画は、供給過剰とならないよう片道1時間に1本とし、運賃は既存の岡電・中鉄と同じ設定</li> <li>岡山駅東口への乗入れは、方面別化を踏まえて岡電・中鉄と同じ7番</li> <li>バス停標識の一本化を検討</li> </ul> |
|             | 岡電  |                               |  |
| ⑧中心部【拡充】    | 八晃  | めぐりん医大右線(循環線)                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>医大左線(左回り)を新設</li> <li>循環線を岡山駅東口に乗り入れ</li> </ul>   |
| ⑨駅アクセス線【新設】 | —   | 北長瀬駅アクセス線(仮)<br>庭瀬駅アクセス線(仮)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>路線新設</li> </ul>   |

## 2) 都心の運賃値上げ(運賃の適正化)

### ■ 現状

- 各社のバス路線が集中する中心部では、競争により、認可運賃(150円前後)ではなく、実施運賃で100円区間が広がっており、経営を圧迫している



**認可運賃より低く設定された  
初乗り運賃(実施運賃)を値上げする**

**初乗り運賃の下限について、  
全社で150円程度に値上げ**

### ■ 事業者の収入増の試算(路線バス)

100~140円の運賃を一律  
150円に値上げした場合

**約0.82億円/年の増収**  
(コロナ禍で2割減でも約0.65億円)

<計算方法(下記①×②)>

- R1年度総運賃収入(岡山市関連系統) ⇒ 35.6億円
- ハレカカード実績(H27.10月~11月)で「100円~140円」の運賃を「150円」に値上げした場合の収入増加率 ⇒ 2.3%増  
※標準運賃ベース(定期や各種割引利用は未考慮)  
※利用者数が変わらない前提

### ■ 岡山駅からのバス運賃(現状)



### (参考) 路面電車で同様の値上げをした場合

100円・140円の運賃を一律  
150円に値上げした場合

**約0.54億円/年の増収**  
(コロナ禍で2割減でも約0.43億円)

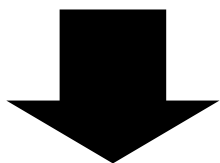
<計算方法(下記①×②)>

- H30年度総運賃収入(岡山市関連系統) ⇒ 3.96億円
- ハレカカード実績(H27.10月~11月)で「100円・140円」の運賃を「150円」に値上げした場合の収入増加率 ⇒ 13.7%増  
※標準運賃ベース(定期や各種割引利用は未考慮)  
※利用者数が変わらない前提

### 3) 運賃割引(高齢者・障害者)

#### ■ 現状

- 現行の割引制度としては、おかやま愛カード(65歳以上の免許返納者)提示者及び障害者を対象とした半額割引があり、また、障害者定期券は、通勤・通学定期(4~5割引)からさらに3割引で販売されている
- **いずれも事業者負担で実施されており、対象人口が増加傾向にある中、経営上の負担となっている**
- また、**高齢者については、免許返納者のみで対象が限定的**



路線バス・路面電車を対象に、

- ① **高齢者(65歳以上)・障害者の運賃割引(半額)を市負担で実施**
- ② **障害者定期券の割引を市負担で実施**

<割引(市負担)の利用条件>

- (1) 岡山市民
- (2) ハレカカードでの利用(割引専用カードを開発)
- (3) 乗車・降車のいずれかが岡山市内

**①②の実施に伴う市の補てん額は  
約3.8億円/年**

#### ■ 事業者の収入増の試算(路線バス)

- ① 現在、事業者が負担している愛カード・障害者の運賃割引に対する市からの負担 ⇒ **約0.09億円**  
(R1実績に基づき試算 ※1)
- ② 現在、事業者が負担している障害者定期券の割引(上乗せ3割引分)に対する市からの負担 ⇒ **約0.15億円** (R1実績)
- ③ 半額割引の対象を全ての高齢者(65歳以上)に拡張することによって見込まれる利用者増による増収分(①を除く) ⇒ **約0.76億円**  
(R1実績に基づき試算 ※2)

**約1.00億円/年の増収**

(コロナ禍で2割減でも約0.80億円/年)

【参考】路面電車は約0.04億円/年の増収

※1 <計算方法①×②×③>

- ① R1年度総運賃収入(岡山市関連系統) ⇒ 35.6億円
- ② 岡山市民の利用割合 ⇒ 80%(H24パ-ソトリップ調査)
- ③ ハレカカード実績(H27.10月~11月)における愛カード・障害者の運賃収入割合 ⇒ 0.32%

※2 <計算方法①×②×③×④>

- ① 総運賃収入 ⇒ 35.6億円【路線バス(R1/岡山市関連系統)】
- ② 市民かつ65歳以上の利用割合 ⇒ 20%(80%×25%)(H24PT)
- ③ ハレカカード利用率 ⇒ 80%に増加と仮定(現在は58%/岡山駅実績)
- ④ 半額割引による利用増 ⇒ 15%増加(交通需要推計モデルによる試算)

## 2. 期待される効果の試算

計画に記載する事項

### 収支率の改善(路線バス)

| 3本柱                  | 内容 |                            | 事業者の<br>収入増の試算<br>(年間) | 備考  |
|----------------------|----|----------------------------|------------------------|---|
| 路線再編                 | ①  | 再編(路線集約・減便)により削減される運行経費    | +2.46億円                | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 削減される運行距離に当該系統の運行事業者のキロ単価を乗じて算出(運行本数はR1ベース)</li> <li>✓ 対象方面は三野、高屋、西大寺、岡南、妹尾(利用者は重複する別系統に転換されると仮定)</li> </ul> |
| 都心の運賃値上げ<br>(運賃の適正化) | ②  | 初乗り運賃の下限について全社で150円に値上げ    | +0.82億円                | (前述のとおり)  |
| 運賃割引<br>(高齢者・障害者)    | ③  | 事業者負担で実施している愛カード・障害者の運賃割引額 | +0.09億円                | (前述のとおり)  |
|                      | ④  | 事業者負担で実施している障害者定期券の割引額     | +0.15億円                | (前述のとおり)  |
|                      | ⑤  | 半額割引による利用者増による増収(③除く)      | +0.76億円                | (前述のとおり)  |

**約4.28億円/年の増収**

(①+②+③+④+⑤)

【参考】路面電車は約0.58億円/年の増収

**経営の  
安定化・健全化**

**【収支率】 82% ⇒ 91% > 89%**  
 (R1) (再編後) (H28地方部全国平均)

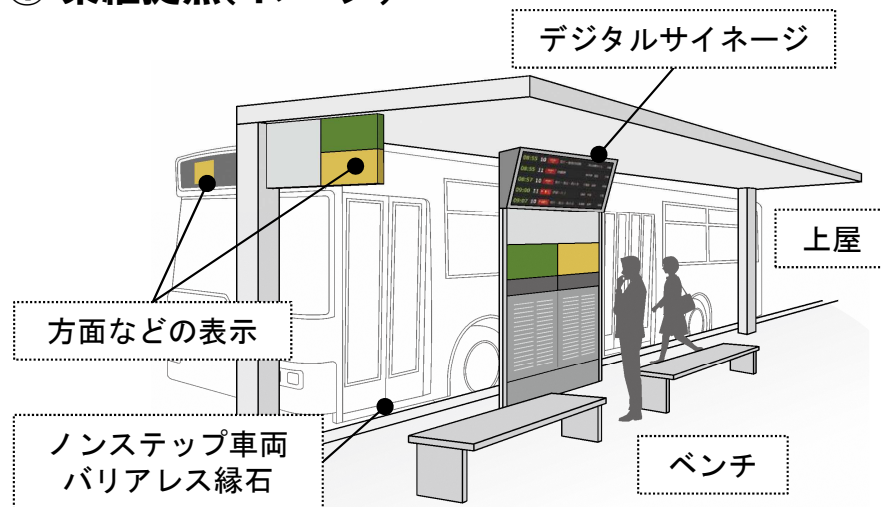
**バス路線の維持・拡充**

# 3. 行政からの支援(案)

計画に記載する事項

| 3本柱           | 内容            |           | 支援内容(案)  |
|---------------|---------------|-----------|--|
| 路線再編          | ①乗り継ぎ拠点の整備    | 岡山市       | 【岡南方面】築港新町にバス同士の乗継拠点を整備<br>【妹尾方面】妹尾駅南口にバスと鉄道の乗継拠点を整備   |
|               | ②運行に対する補助     | 国・県・沿線自治体 | 市町村を跨がる地域間幹線系統への補助(岡南方面・妹尾方面)<br>※国・県・沿線自治体の3者で赤字全額を補助 |
|               |               | 国         | 地域間幹線系統へ接続するフィーダー系統への補助(妹尾方面)<br>※国が赤字の1/2を補助(上限あり)    |
| 運賃割引(高齢者・障害者) | ③ハレカカードシステム整備 | 岡山市       | 割引専用のハレカカードシステムの構築                                     |
|               | ④半額割引分の負担     | 岡山市       | 実績に応じて事業者負担  |
|               | ⑤障害者定期券割引分の負担 | 岡山市       | 実績に応じて事業者負担  |

## ① 乗継拠点(イメージ)



## ② 運行に対する補助(イメージ)

